

プレゼンテーションから学ぶ 伝え方のコツ

教育学研究科2年

伊藤春陽



まずはじめに・・・

伊藤春陽

教育学研究科2年(図書館学習サポーターになって今年で2年目！)

専門分野は 地理学 (過疎地域について研究しています)

好きなものはNegicco♡

今日のセミナーのイントロダクションとして
いいプレゼンテーションにするために、これだけは押さえるべきことと
私が普段どんな準備をしているかをお教えします😊

こんな経験ありませんか？

誰かの発表を
聞いているとき

- ・今何の話をしているのかさっぱりわからない
- ・さっきから同じような話をしているような気がする・・・
- ・結局何が言いたかったの？
- ・専門用語使われても何言ってるのかわからない・・・！
- ・資料の何ページ目の話をしているんだろう？

(※すべて私の経験です)

なぜそうなってしまおうのか？

①何の話をしているのか聞いてても分からない！

→話している人も何を話しているのか(話したいのか)分かっていないから。

②結局何が言いたかったのかよく分からなかった☹

→発表者自身が、要点をまとめきれていないから。

③専門用語だらけで内容を理解できない！

→発表する相手に対する理解不足。

そのほとんどが聞き手の責任ではなく、発表者自身の問題です！

いいプレゼンテーションって？

いいプレゼンテーションにするための条件

- ①聞きやすい
→端的に、はきはき話す
- ②わかりやすい
→発表者の主張が何なのかわかる
- ③制限時間内に終わる
- ④見やすいスライド
→画面だけで内容がわかる

基本的なことに思うかもしれませんが、全てが重要な要素です😊

聞きやすく、わかりやすいスライドのために

ゴール: 原稿を見なくてもスムーズにわかりやすいプレゼンができる

- ① 原稿を作る(初心者ほど絶対必要!)
 - ② その通りにスライドを合わせて読んでみる
 - ③ 必要ないところを削る(配布資料と照らし合わせながら)
 - ④ 人に聞いてもらう
- ↓ ↑

ひたすら
繰り返す!

練習あるのみ!

練習するときのポイント

①時間をはかってやってみよう

→最初は全体の時間をはかる。慣れたら1ページごとの時間をはかる。

目安は1スライド1分。

②自分が何を伝えたいのか(テーマ、研究目的、主張など)を明確に

→何を伝えたいかを常に簡潔に言えるようにしておくとお道筋が見えてくる。

各スライドの内容を簡単に要約できるようにしておく◎

③プレゼンが上手な人にアドバイスをもらう

→いなければ、Youtubeでプレゼンの動画を見てみたり...



上級者は
録画！

実際にどのようにしていいスライドを作るのか
これから一緒に学んでいきましょう😊